

# 自然エネルギーで温泉街を照らす 岩室温泉わらアート・イルミネーション

主催：岩室温泉地域づくり協議会



わら干支制作風景、電飾わらアート、稻架掛け



## 市内と温泉地の誘客・対流が生まれるきっかけ

岩室温泉の中にアートを感じられる空間演出として、イノシシ（亥）や犬（戌）の干支わらアートの制作、わらアートにイルミネーションを点灯させるワークショップや稻刈り・ハサ掛け体験を開催した。町民ボランティアをはじめ、サポート隊として主に首都圏の大学生が制作に参加し、地域との交流活動の促進を図った。

2006年11月に岩室温泉で発祥した「わらアート」は、農村で身近で手軽な稻わらや麦わらなどの材料を使い、アート作品を制作する。大きいものは高さ9mになる巨大な造形物となり、見るものを驚かせてきた。西蒲区岩室温泉は、温泉観光地であると同時に周囲を広大な田んぼに囲まれた農・観の接近地域であることから、稻わらを使ったアート作品で、地域の特色を創造しようという目的で始まった。

2018年から始めた「わらアート・干支展」。2作目となった今回は、温泉街に、わらアートを数体設置し、温泉街の散策を楽しんだ。ほかにも、わらアート作品に電飾を施し、地域の祭りに登場させた。

稻わらをトバに編む地味な作業から、徐々に干支のイノシシへと姿を変えてゆく作業は、非常に達成感のある創作活動だったという参加者の声もあった。制作に関わった町民ボランティアは「観光客の人達がわら

アートを見物に来て写真を撮ったり歓声を上げる姿を見ると自分の事のように嬉しい」と話していた。

このプロジェクトで、住民参加の和が広がった。さらに、町民のアートに対する意識向上や、テーマ性を持たせたことで新たな観光のアピールポイント創り出した。芸術祭に参画することで、市内と温泉地の誘客・対流が生まれるきっかけとなり、アートを通じた交流人口の増加が図られた。

- 7月14日(土) 稲わらトバ編み（いわむろや伝承館）
- 8月18日(土)～8月19日(日) ワークショップ作品完成・発表会（岩室温泉町内）
- 10月7日(日)～10月8日(月・祝) わらアート干支(亥)の製作体験（いわむろや伝承館）他2件